

1. 科目名 (単位数)	メディア社会論 (2単位)		3. 科目番号	EDIT2306
2. 授業担当教員	唐沢 俊光			
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	近年、若者から高齢者までの多くの人が、スマートフォンや携帯電話などのモバイル機器を使って、電話やインターネットによる情報収集・検索などを行っている。それは、コンピュータやネットワークの技術開発やインフラ整備により、我々の生活スタイルが大きく変わってきていることを示す一例である。本講義では、メディアと社会との関わりについて、具体的な社会現象や研究事例を通して考えていく。			
8. 学習目標	メディアが社会にもたらした影響やメディア技術について理解し、日常生活や今日の情報社会に応用できる知識を身につけることを目標とする。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の各章を割り当て、発表レジュメをまとめて授業で発表およびディスカッションを行うという、輪講形式で授業を行う。期末レポートは、自分が発表を担当した章以外のテーマについて簡潔に要点を整理し、それらに対する自分の意見を述べる形式で提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 辻泉・南田勝也・土橋臣吾編『メディア社会論』(有斐閣ストゥディア) 有斐閣、2018。 【参考書】 吉見俊哉『メディア文化論：メディアを学ぶ人のための15話 改訂版』有斐閣、2012。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 メディアが社会にもたらした影響やメディア技術について理解し、日常生活や今日の情報社会に応用できる知識を身につけることができる。 ○評定の方法 出席状況や授業への取り組み、課題提出、期末レポートにより総合的に評価する。 授業参加 30%、課題 40%、期末レポート 30%			
12. 受講生へのメッセージ	教科書の全11章のうち、第1章については教員による解説に基づいた講義や議論を行う。第2～11章については、受講生ごとにテーマ(章)を割り当て、発表レジュメをまとめて授業で発表およびディスカッションを行う。レジュメについては教科書の内容を土台としながらも、単に教科書の内容を要約しただけのものやネット上の情報をコピー&ペーストしただけのものではなく、メディアと社会の関係についての前提知識が少ない受講生にも理解してもらいやすい発表を目指すことが重要となります。レポートでは、自分が発表を担当した章以外のテーマについても意見を述べなければならないので、授業中のディスカッションに積極的に参加することが大切です。教科書等は学生のみなさんの理解度に合わせたものを選定していますが、専門知識を学ぶ科目であるために数多くの専門用語含まれます。本科目を履修に際しては、受講生自ら専門用語等を調べながら、理解しようとする姿勢と学習意欲が重要です。そして、そのための日本語能力が求められます。			
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション、発表テーマ(章)の割り当て メディア社会論のために(1) メディア「社会」論とは何か	事前学習	教科書の第1章第1節を読んでおく。	
		事後学習	発表レジュメの書き方や発表の方法等について理解した上で、自分の担当章の読解、資料収集、レジュメ作成や発表準備を始める。	
第2回	メディア社会論のために(2) 変容するメディア社会/メディア「社会」論は可能か	事前学習	教科書の第1章第1節を再読し、第2・3節を読んでおく。	
		事後学習	メディアやメディア社会論について、その定義を自分なりの言葉でわかりやすく説明できるようにまとめておく。	
第3回	調査発表・ディスカッション(1) ネットワーク化の来歴	事前学習	教科書の第2章を読んでおく。	
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表したレジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。	
第4回	調査発表・ディスカッション(2) モバイル・デバイスの来歴	事前学習	教科書の第3章を読んでおく。	
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。	
第5回	調査発表・ディスカッション(3) コンテンツ・メディアの来歴	事前学習	教科書の第4章を読んでおく。	
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。	
第6回	調査発表・ディスカッション(4) ソーシャル・メディアの功罪	事前学習	教科書の第5章を読んでおく。	
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。	

第7回	調査発表・ディスカッション(5) デジタル・コンテンツの功罪	事前学習	教科書の第6章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第8回	調査発表・ディスカッション(6) ネット広告の功罪	事前学習	教科書の第7章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第9回	調査発表・ディスカッション(7) ユビキタス/ビッグデータの功罪	事前学習	教科書の第8章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第10回	調査発表・ディスカッション(8) 変わりゆくリアリティ	事前学習	教科書の第9章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第11回	調査発表・ディスカッション(9) 変わりゆくコンテンツ	事前学習	教科書の第10章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し、改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第12回	調査発表・ディスカッション(10) 変わりゆくテクノロジー	事前学習	教科書の第11章を読んでおく。
		事後学習	発表者：ディスカッションをもとに、自分の発表レジュメを見直し改善する。 参加者：発表とディスカッションをもとに、自分の言葉でテーマについてまとめておく。
第13回	ディスカッション：これからのメディア社会	事前学習	教科書全体を再読し、これまでの学習内容を復習しておく。
		事後学習	ディスカッションの内容を踏まえて、自分の「メディア社会論」をまとめておく。
第14回	メディア社会論のまとめ 興味を持ったトピックについての発展学習(1) テーマの選定と資料収集・分析	事前学習	教科書全体を再読し、特に興味を持ったテーマについての情報等を収集しておく。
		事後学習	選択したテーマについてのレポート作成を継続する。
第15回	授業のまとめ 興味を持ったトピックについての発展学習(2) レポートの完成と提出	事前学習	レポート作成に必要な参考文献等を収集し、読んでおく。
		事後学習	選択したテーマについてのレポートを完成させ、期末レポートとして提出する。